



室蘭市議会議長 我妻 静夫

あけまして
おめでとう
ございます

本年が市民の皆さまにとって
健康で明るい年になりますよう
お祈りいたします



室蘭市長 新宮 正志

今年 の 抱負

一年の計は元旦にあり。
今年一年の夢を描き
夢に向かって進む
明るい年にしましょう。
地域で活動している皆さんの
今年の抱負を紹介します。



森をつくり、憩いの場に

地球岬観光道路沿いに、かつてごみ処分場があったのをご存じでしょうか。昭和35年から昭和52年まで使われていましたが、その後は、放置されたまま雑草で覆われ、景観や環境に影響を落としていました。

私が幼少のころは、もっと自然にあふれていました。ここは、地元の人々の散策コースです。多くの人が訪れる観光スポットなので、きれいにしてお迎えしたいですね。そこで、自分たちの手で「この場所に森をつくらう」と、近隣の町内会や、団体に呼び掛け、平成21年9月にこの会を設立しました。

2メートル以上にもなるススキやササ、イタドリなどが一面に生い茂っていたため、「こんなところに森ができるのか」と戸惑う会員もいました。草刈りや植樹をすると、「いい汗をかけた」「大切なことだね」と言ってくれました。

これからは、子どもたちをはじめ、多くの人に参加してもらい、森づくりの大切さを広めていきたいですね。何年後かに、この森が市民の皆さんの憩いの場になることを願っています。

今年は、5月に植樹会を予定しています。皆さんも参加してみませんか。



地球岬街道夢の森づくりの会

会長 森川 卓也さん



魅力ある商店街づくりに挑戦したい



中島地区は、4つの商店街振興組合がそれぞれ個々に事業を行っていますが、みんなで一緒にこの地区を盛り上げていこうと、昨年9月、共同で中島商店会コンソーシアムを立ち上げました。それぞれの振興組合はそのまま残し、共通したイベントや事業を同コンソーシアムで行っていこうというものです。

その一環として「買い物などのついでに立ち寄れる憩いの場所がほしい」という声が以前からありましたので、中島町の大きな交差点横の空き店舗を利用した「ふれあいサロンほっとなぐら」を開設しました。気軽におしゃべりしたり、音楽会や打ち合わせなどにも利用してもらって、名前のとおりホットな気分で家に帰りたいと考える人も増え、また、何かお店をやってみたい人がチャレンジできるコーナーもサロン内に設置しました。今後、このサロンから夢を発信できるように、いろいろと挑戦していきます。みなさんに意見を頂きながら、明るくおしゃれで人の集まるスポットにしていきたいですね。そして、商店街同士が連携を強めて、中島がもっと魅力ある地区になるよう頑張ります。



中島商店会コンソーシアム

代表 **小野寺 芳子**さん



※コンソーシアムは特定の目的のために複数の団体などが集まって形成される共同団体



全員参加型の町内会に



楽山ゆめのさき町内会

会長 **中村 邦夫**さん



昨年の9月に知利別町に誕生した、市内で一番新しい町内会で、現在、約240世帯が住んでいます。

地域内には公園や遊歩道があるので、みんなで環境整備をするためにも「町内会があればいいね」という声があり、呼び掛けたところ、約9割の世帯が加入してくれました。町内会離れが進んでいると言われますが、関心を持っている人もたくさんいると改めて実感しましたね。市の、「まち『ヒカ』パートナー」にも町内会で早速登録して、11月にごみ拾いと草刈りを行いました。170人以上の参加があり、うれしいうれしい限りです。

町内会の活動が負担にならないような工夫も必要と、規約に役員の任期制限を盛り込みました。1期2年で、再任は1回のみ。役員の新陳代謝で、全員が気軽に参加できるような町内会にし、また近隣の町内会や団体とも連携しながら活動していきたいです。

この地域は、若い世代が多く、子どももたくさんいます。家族で楽しめるようなイベントも企画して、ここに住む子どもたちと一緒に、町内会も成長していければと思っています。

雪の楽しさ伝えたい



市民雪像づくり実行委員会

実行委員長 **西條 隆**さん



今年の2月、だんばらスキー場で、市民が雪像を作る「ゆきまつり」を開催します。昨年まで市民団体がチューブ型のそり「ゴムスレー」と、雪のブロックで作ったドーム型の家「イグルー」を制作し、たくさんの方が冬を楽しみました。そこにもうひとつ趣向を凝らし、少しでも長く楽しんでもらおうと、今回、雪像によるゆきまつりを市民有志で準備しています。

雪像は、応募のあった20組が市内の雪像アーティストの協力を得て、開催日に向けて造り上げます。雪像造りは初めてというチームがほとんど。子どもから大人まで、2メートル四方の雪を削って作品造りにチャレンジします。

雪は冬の厄介者と考えがちですが、楽しめるものでもあります。身近に冬を楽しめる「だんばら」というすばらしい場所があることを知ってもらい、多くの人に、雪に親んでもらいたいですね。初めての試みですがまた来年も開催できるように、ぜひ成功させたいです。

開催日の2月13日から20日まで、雪像のライトアップのほか、楽しんでもらえる内容を考えていますので、家族や友人と一緒にぜひ冬を満喫しましょう。